

KD0892 2025年9月

電子書籍

復刻版

映画之友

映画之友

新年
号

一億一心
國策協力
國威發揚

大陸建設映画特輯
寫真 訪問 中村大郎
映画使節「重」不出 英夫
「白い蜃」 作品解説
昭和十六年作品同題「永町」
大原 南 學 小崎 政

大陸建設映画特集号

「南海の花束」

作家物語

試写室風景 「藝道一代男」

高尚な志を掲げた映画をこよなく愛する者達による、映画鑑賞の手引書。一般大衆への影響が強いがゆえに国民的文化財に成長した映画は、「映画製作は国家本位であれ」、「東亞共栄圏を指導する映画を作れ」という政府のイデオロギーの下、新聞・ラジオと並ぶ「報道機関」として国家の管理下に置かれる。映画人たちの運命や如何に？激動期の3年間に向き合った映画人たちの記録。

カメラ現地報告

松竹「桜の國」台湾と志那へ行く

「映画界入門」横井福次郎

「馬」撮影スナップ

演技研究
喜怒哀楽

セット販売価格：¥176,000を
創業1周年特価として、約15%offの¥150,000(税別)
にてご提供いたします。 ※好評につき2026年3月末までにお申し込みの場合に限ります。

創刊新年号

合同会社 かかし

107-0062
東京都港区南青山 2-2-15
winAoyamaビル UCF6F
tel:03-6403-5803
contact@kakashi-ebook.co.jp
<https://kakashi-ebook2024.net>

プラットフォーム

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

紀伊國屋書店

デジタル情報営業部
ict_ebook@kinokuniya.co.jp
Tel : 03-6910-0518 Fax : 03-6420-1359
東京都目黒区下目黒 3-7-10 153-8504

映画之友

創刊の辞（昭和15年12月）

「日本映画雑誌協会設立に伴い、映画紹介鑑賞誌たる「映画之友」「映画ファン」「キネマ」「新映画」「スター」の五大雑誌は全部十二月号限りで発展的解消をとげ、新しく「映画之友」並に「新映画」の二雑誌が新年号より創刊されることになりました。「映画之友」といひ「新映画」といひ、たまたまその誌名が映画雑誌として最も適切なるためこれを選んだまでで、内容体裁にいたつては能ふる限りの刷新を加へ、文字通り面目を一新することになつてをります。かくて新生「映画之友」は、一般向きの映画紹介鑑賞誌、皆さんのための映画雑誌として、その機能を十二分に發揮すべく、万全を期したいと思つてをります。最も重要な文化財としての映画の、正しき道への指導、広大なる発展への推進に向つて、本誌は全力を尽くして行きます。健全なる娯楽性の中に映画鑑賞の指導性を持たせること、本誌は世界にもその例をみない本当に万人に裨益し歓迎されるような映画雑誌として、映画紹介鑑賞誌本来の使命を完ふすべく、真摯敬闘して行く覚悟であります。」日本映画雑誌協会 株式会社映画日本社 ※一部省略

解説 ● 佐伯 知紀
(映画史家・NPO法人映像産業振興機構顧問)

株式会社映画日本社 ※一部省略

出揃つた國民日報

國民映画とは日本人の生活
美しい氣持、日本人の逞しい
み出てゐる映画のことである

國策映畫

東亞における各國映画の現有勢力

本人の
山の滲

次回作品は
つんな
し気組みで

藝道一代男に

鳥合
需が
興と
謀と
無

完成の「松竹」(矢野と三)
大村益次郎「日活」(將軍と参
謀長)
澤村山太郎「朝顔日記」(も近く撮
り開始するが、過剰解散した東
宝製作品「お銀組母さん」)
賀映両社が續々製作予定とのこと
春三月末日迄に通検させるこ
始と不可能なので、東寶では
参加を準備することになつ

国策性
任総務

映画の国策性
大政翼賛会常任総務

映画日本社が第二次世界大戦時に、大衆向け映画情報誌として出版。『映画ファン』・『キネマ』・『新映画』・『スタア』・『映画之友』の5誌が戦時統制によって、『映画之友』と『新映画』の2誌に統合され1941年に創刊。

宣言(昭和17年1月)

昭和十六年十二月八日、畏くも米英に対する宣戦の大詔が渙発せられ、ここに一億国民の向かふべき道がはっきり決まった。＜中略＞戦ひは国家総力戦である。＜中略＞豊かなる娯楽性と強力なる啓発宣伝性をもつ映画の責務、いよいよ重且大なるものを覚える。更にまた、映画の正鵠なる報道機関たる雑誌の使命の切実なる、これまた多言を要しないところだ。思ふに雑誌の経営編集も、総力戦体勢の一環として、国家の意思具現に向つて、邁進すべく努めなければならない。今や誌面における一個人の趣味、一団体の嗜好の如き、断固排撃すべきである。われわれは銃後の陣を固く守る思想戦士として、さあ頑張らう、いざ突進しよう！＜中略＞聖旨を奉戴し、進んで聖戦の目的を完遂し、誓つて皇軍将兵の純忠にこたへ、鐵石の意思をもつて映画文化の健全化を図り、以て高度国防国家体制の完璧化を期すべく総力を国に捧げて国に報い、この一戦に石に噛りついて戦ひ抜いて行く決意である。

株式会社映画日本社

株式会社映画日本社

画期的な内鮮映画人の交流
「君と僕」鑑賞の手引き

日満支撮影所めぐり
李香蘭

「文化映画」村山しげる

● 同時アクセス数3の価格

● ①・②分売可

配信回数	巻数	掲載号	発行年月日	分売	分売価格(税別)	セット販売価格(税別)
第1回配信 (全2回)	第1巻	1巻1号～1巻3号	1941年1月1日～1941年3月1日	①	¥99,000	¥176,000 2026年3月末まで 特価¥150,000
	第2巻	1巻4号～1巻6号	1941年4月1日～1941年6月1日			
	第3巻	1巻7号～1巻10号	1941年7月1日～1941年9月1日	②	¥99,000	
	第4巻	1巻11号～2巻2号	1941年10月1日～1942年2月1日			

1941年1月創刊号～1943年12月号の休刊迄を2回に分けて配信

※販売対象機関：全機関

戦前戦中期 映画関連復刻版「新映画」「月刊映画」「演芸と映画」電子書籍にて、続々刊行。

合同会社 かかし kakashi,inc

kakashii, inc